

平成28年10月6日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

グレリン受容体作動薬（セリン誘導体）の日本における特許査定のお知らせ

当社が創出したグレリン受容体作動薬の物質特許（出願番号2016-512151）は、これまで日本で審査中でありましたが、本日、特許査定^{*}の連絡を受けましたのでお知らせいたします。

今回の特許査定により、日本において当社の知的財産権が強化される事となりました。

グレリンは主に胃から分泌されるペプチドホルモンであり、摂食促進やエネルギー代謝調節等に重要な役割を果たしています。

当社が創出したグレリン受容体作動薬は、経口投与可能な低分子化合物です。グレリン受容体（成長ホルモン分泌促進物質受容体とも称される）に作用し、動物において、がんに伴う悪液質による食欲不振の改善および体重減少の抑制に有効であることが確認されています。本化合物は、体重減少や体力消耗等の悪液質の症状を改善して、患者さんの生活の質（Quality of Life: QOL）を維持向上させる画期的新薬として、未充足の医療ニーズに応えることが期待されます。

当社は、今後も引き続き、知的財産のポートフォリオの強化・充実およびライセンス活動に努めてまいります。

なお、本特許査定により、平成28年12月期（平成28年1月1日～平成28年12月31日）の当社業績への影響はございません。

以 上

<ご参考>

【悪液質について】

悪液質（cachexia）は、がんに限らず種々の慢性疾患における栄養不良の状態であり、食欲不振や体重減少を示し、患者の活動性、生活の質（QOL）や治療反応性を低下させ、予後を悪化させることが知られています。グレリン受容体作動薬は、悪液質に有効な治療薬として期待されています。

【特許査定について】

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって、登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。